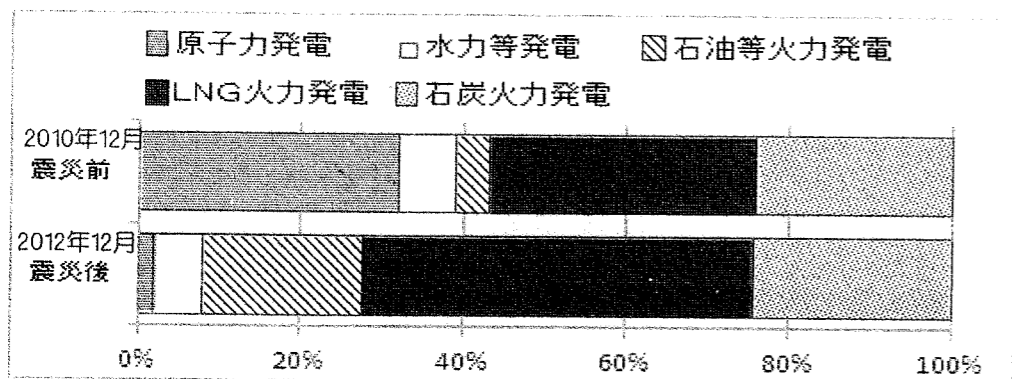


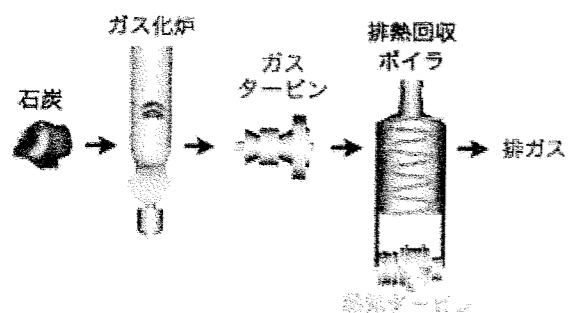
## 石炭ガス化複合発電 (IGCC)

皆さん、「耳にタコ」で聞きたくないかもしれませんが、とても暑いですね。たまたまエアコンをつけようとする、ふと気になるのが「節電」。そこで、最近の電気事情について調べてみました。



出所:資源エネルギー庁「我が国のエネルギー情勢①」

火力発電に頼っている現状に、次は「地球温暖化対策」が気になりました。またまた火力発電について調べると、福島県いわき市で、エネルギー効率のいい石炭発電(IGCC)が、商用運転されているとのこと。これは、ガス化炉内で石炭をガス化し、燃焼させることによりガスタービンを回し、さらに高温の排ガスをボイラに導いて蒸気を発生させ、蒸気タービンを回すというものです。



IGCC を利用すると、既存の石炭火力発電設備に比べて発電効率が20%程度向上するそうです。ガスタービンでガスを燃焼させる時には、CO<sub>2</sub>が発生しますが、その量は天然ガスを燃料とする発電設備と同程度です。また、従来の石炭発電では利用しにくい低品質な石炭まで利用できるという特長があり、発電コストは、安く

抑えられます。(1kw当りの燃料費:石油16円。ガス11円。石炭4.4円)

IGCC に燃料電池を組み合わせた方式もあるそうです。石炭から取り出した燃料ガスは、水素を多く含んでいます。そのガスで燃料電池まで作動させて発電しようという方式で、燃料電池、ガスタービン、蒸気タービンの3カ所で発電するので、発電効率は IGCC よりもさらに高くなるとのこと。

再生可能エネルギーだけで電力を賄うことがまだ難しい今、効率のよい石炭ガス化複合発電の実用化は、電力の安定供給のために期待されそうです。

【参考資料】三菱重工㈱ホームページ、クリーンコールパワー研究所ホームページ

## ゲストティーチャーとしてできること

寄付促進のしろくまプロジェクトが、順調に滑り出しました。現在、広く寄付を募る一方で、しろくま教室を受け入れてくださる学校を探しているところです。

エコけんでは、仮認定を福岡県からいただいたのを契機に、思い切って「地域」を福岡県全域に拡大することにしました。発会から10数年来、近隣の学校へゲストティーチャーとして関係を紡いできましたが、直接のご縁のない学校にもご理解を得るべく、精を出しています。

しろくまプロジェクトでは、原則、単発の教室開催になりますので、学校カリキュラムに沿うことで学習効果を上げたいと考えています。学校へのご案内資料を用意していますので、興味のある方はどうぞご連絡ください。お待ちしております。

<<例>>

鍋炊飯	4年~6年
家庭科 総合的学習など	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の文化</li> <li>・地域と食</li> <li>・災害時の備え</li> </ul>	

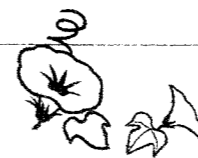
手回し発電機を使って	4年~6年
理科 社会科 総合的学習など	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電の仕組みと新しい技術</li> <li>・我が国のエネルギー資源</li> </ul>	

古布ティッシュ	4年~6年
家庭科 社会科 総合的学習など	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣類の再利用</li> <li>・食事の後の片付け</li> <li>・排水処理の方法</li> </ul>	

雑がみ工作	3年~6年
社会科 図工 総合的学習など	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑がみと分類方法</li> <li>・3Dについて</li> <li>・製作工作</li> </ul>	

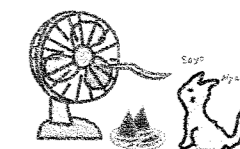
しろくましろく	1年~6年
社会科 道徳 総合的学習など	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題</li> <li>・学べること</li> </ul>	

<<S>>



### つれづれ草枕 7月

夏草や 兵だけど 負けます



蚊に刺され、汗にまみれての草取り  
ネコの額程の庭がこの時ばかりは甲子園のように広く感じる...  
ちょっと言い過ぎでした。でも、終わらない~!

<<日女>>

## 保育所へエコ出前授業

福岡県地球温暖化防止活動推進センターの依頼で、筑紫野市立下見保育所へエコ出前授業に出向きました。

田んぼに囲まれ広々とした下見保育所では、人権デーを月1回企画されています。7月のテーマは「環境」で、クラスごとにエコな取り組みをしたり、分別体験コーナーを玄関入口に設置し、お家の方へも啓発活動をされるなど、積極的に取り組んでおられました。



温暖化ストップのためにできる事と、保育所からご要望いただいた、ごみの減量や分別、水の大切さについてを詳しくお話させていただきました。未就学児への授業は、年齢的にハードルが高く、いつも緊張するのですが、普段の生活で身近にエコを取り入れておられる成果でしょうか、すんなりと子ども達は理解していたようでした。用意していた節水コイルも喜んで取り入れてくれるとのこと。小さな頃から、あたりまえのようにエコな生活を習慣づけることが、将来にもつながると感じました。

子ども達の歌や、「もったいないばあさん音頭」を踊ってくれるなど、楽しいエコ出前授業でした。

《Yっち》

## 「ファンドレイジング」ってなあに?!

「ファンドレイジング」という言葉をお聞きになったことはありますか?

ファンドレイジングとは、民間非営利団体（公益法人、NPO法人、大学法人、社会福祉法人など）が、活動のための資金を、個人、法人、政府などから集める行為を言います。NPOにとって「寄付を集める」「賛助会員を増やす」ことは、共感を通じて自らの取り組む社会問題への理解者・支援者を増やしていくことであり、重要な活動のひとつだと言えるでしょう。

エコけんもこのファンドレイジングに注力し始めたところですが、下記のようなセミナーも開催されるようになりました。今後ファンドレイジングという言葉も、だんだんと一般的になってくるのでしょうか。



### ファンドレイジング入門セミナー《福岡県NPO・ボランティアセンター×NPO法人アカソキ:企画・運営》

- 第1回 7/28 寄付集めに皆で取り組むチーム作り
- 第2回 8/11 潜在支援者と出会いつながるためのスキル
- 第3回 8/18 情報公開による信頼性の向上と仮認定のメリット

※第3回には代表の清水も登場します。

《S》

## 未来を創ろうインタビュー

No.28 古賀市副市長

坂本 正美 氏

厳しい暑さが続く7月中旬、古賀市役所の副市長坂本正美氏にお話を伺いに行きました。颯爽と応接間に入ってこられた副市長は、とても気さくなご様子で、一気に緊張が解けました。

坂本氏は、平成14年、九州経済産業局から古賀市商工振興室に出向されていましたが、その後、副市長として再び古賀市に着任されました。その間、古賀の野球チームに所属されたり、コスモス館にも足しげく通って、古賀との縁を切らずにいてくださったそうです。ちょっと日焼けされた副市長は、ポロシャツとスニーカーが似合うナイスガイだとお見受けしました。

子どもの心で生きていける社会、人とのつながりが深い社会、ちょっとおせっかいだけど優しい思いやりのあった昭和30年頃の日本の心を取り戻したいと言われました。いただいたメッセージにある「忠恕」は、論語の言葉です。忠恕とは、自分の良心に忠実であること、他人に対する思いやりが深いことです。真心や思いやりの心は時代が変わっても人が本来持っている徳として、大切に生きていきたいと再認識しました。



Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

A. ・思いやりの心、気づき(恕)

Q. そのために

ご自身で心がけておられることは

A. ・相手の話をじっくり聞く

・相手のことを気にかける

・自然体で生きる

未来を創るメッセージ

忠恕の気持ち

《日女》

雨天中止



次回のぼらんず ※ぼらんずとは、毎月のボランティア活動です。

9月20日(金) 15:00~1時間程度 エコロの森周辺



仮認定 NPO 法人



〒811-3114 福岡県古賀市舞の里5-24-13  
[TEL/FAX] 092-944-6450 [mail] eco\_ecoken@ybb.ne.jp  
[HP] http://www.10.ocn.ne.jp/~ecoken